



何よりも「いのち」を大切に

令和2年度が始まったのも束の間、新型コロナウイルス感染症対策のため、臨時休業の措置がとられました。子供のいない学校、進まない教育計画に不安や焦りがありましたが、健康観察の登校日や準備登校で子供たちの元気な姿を見てほっとしました。

いよいよ臨時休業が解除され学校を再開します。音楽や体育など通常のようににはできない教科があったり話し合う活動は制限されたりと難しいところがありますが、学ぶ順序を入れ替えたり、やり方を工夫したりして対応していきます。磐田市内では感染者が出ていないとはいえ、油断は禁物、感染予防に留意して教育活動を進めていきます。保護者の方々におかれましても、引き続きお子様の体調管理や検温をお願いします。

美しい姿・心温まる姿

準備登校などほんの数日、しかも2、3時間の子供たちの在校でしたが、子供たちの素敵な姿を見ることができました。

朝の登校時、挨拶とともに、すっと会釈する姿。下校時、当たり前のように自分から廊下の窓を閉めている姿。子供たちにとっては何気ない普段の行いでしょうけれども、とても美しい姿、心温まる姿です。こういった姿をこれから、もっとたくさん見つけられることがとても楽しみです。



「かがやき いっぱい南の子」

臨時休業が長引いたことで教育計画が乱れたため、計画を急ピッチで策定し直しています。特にマスク等でも取り上げられるとおり、授業の時数を確保していくことは一番の課題となります。そのため、行事等で削減・縮小していくものもあることはやむを得ないと考えています。合わせて、経年の変化で過度に行き過ぎた装飾や内容となっている行事等については、見直すよい機会でもあるととらえています。

しかし、授業時数の確保や学習内容の実施にのみ目を奪われ、やみくもに授業を進めることは、教育の本質をはずすこととなってしまいます。しっかりと地に足をつけ、南の子が、

○おもいやりを持って行動する。

○おおきな声で（しばらくは「さわやかな・はっきりと」）挨拶、発表する。

○まじめに勉強、運動する。

○つねに感謝と笑顔を大切にする。

子になるよう、学校教育目標「かがやきいっぱい南の子」に向けて、職員一同、子供たちの自尊感情が高まるよう教育活動を行っていきたいと思います。

（校長 上野 明彦）